

目標達成計画

作成日: 令和 3年 7月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議はコロナ禍において開催できていないが、開催できていた時は自治会の方々に参加が限定されていた。	自治会の役員だけでなく、民生委員や消防団の方など幅広い職種や役割を持った方々が参加できるようにし、認知症の理解や施設の取り組みを知っていただくようにする。	自治会役員や地域包括センターと協力して、幅広い層の方々が、入れ替わりで参加できる取り組みを行う。 ただ参加していただくだけでなく、施設が地域のお役に立てる取り組みを検討していく。	6ヶ月
2	4	書面上での運営会議開催となっているが、送付している書類が少なく、変り映えのないものになっている。	参加者の方々に施設や認知症の事を、もっと興味をもっていただけるようにする。	施設内のアクシデント・ヒヤリハット報告や、月々の活動報告を送付し、認知症ケアの難しさや楽しさが伝わるようにしていく。	6ヶ月
3	26	担当者会議等が開催できず、ご家族様に対してケアプランや居宅療養管理指導等の書類のみでの状況報告となっている。	できるだけ多くのご家族様と電話やリモート面会でご入居者様との接点を持てるようにし、ご入居者様の状況が伝わるようにしていく。	コロナ禍においてはリモート面会の機会が増加できるように電話やGH通信を通して、できるだけ多くの方々に周知していく。 電話での対応もできるだけ詳細にお伝えできるようにご入居者様の心身状態を把握しておく。	6ヶ月
4	35	災害時の避難訓練についてはこれまでも実施してきたが、災害後における避難所での生活等の想定が曖昧になっている。	災害避難所の状況や部屋割り等を確認し、地域の方々にも認知症高齢者の方の理解をしていただけるようにする。	地域の災害訓練に参加し、地域の方々との情報共有を行っていく。 職員に対しても会議等でシュミレーションを行うなど災害時に対応できるスキルを育てる。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。